

大野市地域公共交通利便増進実施計画(概要)

- 大野市は、人口減少や少子化、運転免許保有者の増加(高いマイカー保有率)により、公共交通の利用者数は大きく減少。一方、これから団塊の世代が後期高齢者となり、車の運転が不安になる方や運転免許返納者の増加が予想される。
- 車社会にあって市民は、「高齢者や運転免許返納者など移動に困っている方に手厚い公共交通の実現」を望んでいる。
- これら課題や住民ニーズを踏まえ、交通ネットワークを再編し、移動にやさしい・わかりやすい交通サービスを提供する。

事業の内容

①市営バスの再編・和泉地区とのアクセス強化

- 市営バス2路線を統合し、スクールバスも兼ねた路線を新設。統合による車両運用効率化に伴い越前大野駅-九頭竜湖駅間の運行本数が増加(往復1本/日→最大4本/日)し、越美北線のダイヤを補完
- 和泉地区内の市営バス2路線を統合しデマンド化。利用可能時間が増加し、和泉大野線からの乗継利用で地区内のアクセス性向上

②循環バスの時刻表・ルート見直し、運行効率化

- 鉄道やバス(地域間幹線・市営バス)のダイヤを考慮し接続性向上、一部ルートの見直しにより、特に通学における速達性向上
- 廃止バス路線は循環バス車両を活用し路線を新設、運行効率化

③乗合タクシーの利便性向上

- 会員になると自宅までの送迎が受けられる会員制を導入。歩行がしづらい高齢者等の利便性を改善。タクシー利用料金助成も新設
- 歯科医院はじめまちなかの停留所を追加し、豊富な目的地へ改善

④わかりやすい交通サービス・バス情報の提供

- 距離制運賃や複雑な割引を再編、わかりやすい運賃を確立
- バスロケーションシステムの導入など、バス情報の充実・高度化を図る

事業の効果

- ラストワンマイルを含む郊外と市街地の交通ネットワークが強化
- 市営バスの再編やニーズに基づく会員制の導入や停留所の追加等により、ラストワンマイルを含む郊外から市街地への往来が便利に
- 利用者・リピーター数の増加、収支率改善
- ニーズを踏まえた利便性向上策やわかりやすさの改善により、車から公共交通への移行や併用を促進。利用者増による収支率改善を図る

- 計画作成自治体 福井県大野市
- 事業実施区域 大野市
- 事業実施予定期間 R6年度～R10年度

計画路線図等

- 下庄線
(民間の大矢戸線廃止代替)
循環バスの車両を使用し
ルートを追加・変更し運行



- 乗合タクシー
大矢戸・乾側線、森目・阪谷線
友兼・藤生線、小山木本・掘兼線
田園集落から市街地への区域運行
1乗車300円に運賃改定
会員制導入、会員は自宅まで送迎可
まちなかの停留所を追加、時刻表を改定

- まちなか循環バス
まちなかを8の字に運行
北陸新幹線開業に伴う越
美北線ダイヤ改正と通学
利便性向上のためルート・
時刻表を改定
- 和泉大野線
(市営バス2路線統合)
中部縦貫自動車道走行
スクールバスを兼ねる
越美北線ダイヤを補完

● 運賃改定の前・後比較

従前	運賃	再編後	運賃	備考
まちなか循環バス	100円	まちなか循環バス	100円	
大矢戸線	170～240円	下庄線	100円	午後の便は廃止
道の駅線・和泉線	100円～800円	和泉大野線	域内100円、域外500円	越美北線定期券保有者割引有り
前坂線・中電線	100円	和泉乗合バス	200円(定時便100円)	和泉大野線との乗継割引有り
乗合タクシー	300～500円	乗合タクシー	300円	2人以上乗車の100円割引あり

